

小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年10月号

次の世代の公共施設づくりのための準備会

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

6月から8月にかけて開催した「複合化等の方向性」の市民意見交換会の結果を踏まえ、次の世代の新しい公共施設づくりを進める準備として、今後の市民参加の全体像となる「中央・小川デザインプロジェクト～次の世代の施設を考えよう～」や、「中央・小川デザインカフェ」（ワークショップ形式）の進め方などについて説明を行いました。また、準備会では、他自治体の取組の事例紹介や参加者同士での意見交換なども行いました。

市では、市民参加などを経て平成31年10月までに新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【準備会参加状況】

- | | | | |
|--------------|--------|------------|-------|
| ① 9月30日（日） | 10時～正午 | 福祉会館第一集会室 | 16名 |
| ② 10月8日（月・祝） | 10時～正午 | 小川西町公民館ホール | 30名 |
| | | | 延べ46名 |

会場の様子



準備会の進行

前半に、これまでの公共施設マネジメントの取組、市民意見交換会の結果報告、そして今後の市民参加の進め方の説明を行いました。

後半は、オリエンテーション的な位置づけとして、他自治体の事例紹介と参加者同士で公共施設に関することなどについて意見交換及び発表を行いました。

【中央・小川デザインプロジェクト】

多様なニーズを把握するため、ヒアリングやアンケートなどの手法を組み合わせ、市民参加を行います。（右図参照）

市民参加によるニーズ把握は平成30年度年度末までを目途として、平成31年8月予定の市民意見公募（パブリックコメント）手続を経て、平成31年10月の基本計画策定に向けて取組を進めます。

準備会では、手法のひとつである「中央・小川デザインカフェ」についての説明を行いました。

中央・小川デザインプロジェクト

～次の世代の施設を考えよう～



市民参加構成図

中央・小川デザインプロジェクト
～次の世代の施設を考えよう～

**中央・小川
デザインカフェ
OPEN!**

中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの
「次の世代の新しい公共施設づくり」に向けて、
コーヒーやお茶とお菓子を楽しみながら、
わくわくするワークショップを交えて
これからの計画を検討していく場です！
一緒に小平市の未来をデザインしましょう！

ぜひご参加ください！！

各国の詳細や
参加要件は
裏面の内容を
ご覧ください！

私たちが
この街を
より良くする
ことができる…

未来をデザインする
ということ

小平市公共施設マネジメント マンガ作品集より

【お問合せ・申し込み】小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557
FAX042-346-9513 メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

市民参加ちらし

【中央・小川デザインカフェ】

異なる地域性への配慮及び市民参加を丁寧に進めるため、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアに分けて構成しています。また、メリハリをつけた展開などを行うため、各エリアを2部で構成しています。

- ① 中央公民館周辺エリア 6回（第1部3回、第2部3回）
- ② 小川駅周辺エリア 6回（第1部3回、第2部3回）

●対象者

対象者は、以下の2点の要件を満たす方です。

- ① 在住、在勤、在学、市内で活動する方
 - ② 各エリア第1部か第2部、または両方の原則 全日程に参加できる方（両エリアの申込みも可能）
- ※日程の途中からの参加や欠席も可能です。

目標に関する意識を持っていただくため「次の世代の新しい公共施設づくり」というテーマでの考えを記載して頂きます。

詳しくは、各公共施設の設置の「ちらし」をご覧ください。小平市のHPにも掲載しています。
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/071/071682.html>

【準備会での意見など】

- ① 小平市は自然環境が豊かなのが特徴である。小平市の特色（自然や大学など）を活かすことが必要である。
- ② 財政的なものを見据えて、現実を踏まえないといけない。
- ③ 関心のない方にどう働きかけるかについても考えなければいけない。
- ④ 近隣の住民とそうでない市民との意識は異なるため、エリアを区切って整理をすることも必要である。
- ⑤ 年齢層やライフスタイルが様々に異なる中で、市民が何を求めているかについて声をよく聞いてほしい。
- ⑥ 障がい者や高齢者などが使いやすいバリアフリーのことも考えてほしい。

市民参加を多様な手法で行います。また、この事業は大規模であり、市民参加を着実に、確実に進めていくため、そして市民と行政の「つなぎ役」として、(株)GPMOが市のコンサルタントとして携わります。公共施設マネジメント基本方針の理念である「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」の実現を目指して取組を進めます。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp